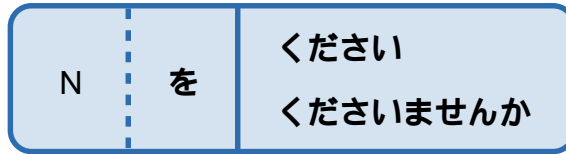


文-08

Nをください



N: はな て もと たいしょう話し手が求めている対象

基 本

例 文

① A: これをください。

B: はい。

② A: すみません、赤いばらを8本
ください。

B: はい。1200円です。

③ A: ハンバーガーとサラダをください。

B: はい。

④ A: すみません、コーラを二つください。

B: コーラを二つですね。

⑤ A: (友だちのうちで食事のとき)

すみません、水をくださいませんか。

B: はい。

⑥ A: (観光案内所で)

あのう、この町の地図をください
ませんか。

B: はい、どうぞ。

解 説

A. 「Nをください」は、店みせで商品しょうひんを求めるときもとに使う。(例文①②)

B. 「Nをください」は、レストランなどで注文ちゅうもんするときつかに使う。(例文③④)

C. 「Nをくださいませんか」は、話し手はなにとって利益りえきになるものきを聞き手きに丁寧ていねいに求めるときもとに
使う。(例文⑤⑥)

例 文

- ⑦ 先生、宿題のプリントをください。
- ⑧ 先生、会話のテープをください。

解 説

D. 「Nをください」は、自分が当然もらうべきものを受け取りたいときに使う。(例文⑦⑧)

先生へ

買い物やレストランなどでの注文のとき、「を」を省略して「N、ください」と言うこともある。

「を」は、「を(対象)」(p.38参照)

「Nをください」は、ものを求めることが当然である人間関係、場面で使われるので、練習のときの場面設定に注意すること。

教室での学習者と教師の会話では、「Nをください」だけを使った方が混乱しない。

【関連項目】

- 文 -16 Vてください
- 助 -08 を(対象)

【「れんしゅう編」の練習】

- 3-2 何本・いくつ
- 3-4 ハンバーガーの店